

# 報 告 書

開催日時	平成27年5月13日（水）午後7時00分～8時30分	
開催場所	生出多目的集会センター	
出席議員	挨拶 佐竹 強 班長	
	司会進行	大坪 涼子
	報告者	藤倉 泰治
	記録者	鶴浦 昌也
	議員	大坂 俊、伊藤 明彦
参加人数	市民14人、市職員1人	
主な要望 ・提言等	<p>1. この議会報告会で出された意見や要望は、市当局に伝えて終わりなのか。この場で何かを決定することができるのか。報告会があるたびに毎回話しているが、前回の報告会で出された意見や質問に対して回答してから始めてほしい。ただ聞きっぱなしなのか。いつも「当局に話しておきます」で終わっている。前回のことを当局に伝えて、どうなったかを回答してから報告会を始めてほしい。また、先ほど市の予算に関する説明があったが、復興に関するだけでなく生出に関する内容について説明してほしい。</p> <p>2. 生出の問題は、道路が狭いということ。とくに冬期間は危険で、整備してもらえよう県に求めてほしい。このことも議会報告会が開かれるたびに話している。道路整備が進むためには、地区民がどのようなことをすればいいのか教えてほしい。前回も地域としてどのような取り組みをすればいいのかということ話を話したはず。その回答もない。</p> <p>3. 前回の報告会には矢作町の議員が来なかった。あいさつだけで一言も話さずに帰った議員が2人いた。その時、林道のがけ崩れが何度も起きている場所や護岸工事について話したが、「土木課に行け」といった回答だった。今回は地元の議員が来るということで来た。「土木課に行け」などと言うなら来た意味がない。</p> <p>4. 市の今年度予算の中で、生出に関する新しい事業はあるか。この地区は木炭発電や水力発電などに取り組んでいるが、「環境にやさしいまちづくり」として何か生出地区に関する事業はあるか。</p> <p>5. 三ノ戸地区は市の水道がきていない。現在、ホースで引いているが、タンクを設置し、ろ過して分配している。以前、戸羽市長が来た時に「補助を出す」と言っただけ。市の水道を待っていたのでは10年後になりそうなので、補助をもらって個人負担が少なくなるなら賛同</p>	

- する人もいるのではないか。地区内で、利用する人がある程度まとまれば補助してもらえるのか。
6. 三ノ戸地区にある市道沿いの河川で土が崩れている箇所がある。水道のホースも多くあり、ブロックを設置してもえぐれてしまう状態。早急に対応してほしい。
  7. 清水地区を通る旧道の市道がだいぶ傷んでいる。絆創膏を貼るように部分的に直しているが、どうにかならないか。
  8. 県道で崩れている箇所が2カ所ある。早く工事してほしい。また、梅木地区の工事も早く進めてほしい。事故が起きてからでは遅い。冬場に凍結して車がスリップする。ケガ人が出て市が賠償したこともある。
  9. テレビ組合について、不公平を感じる。今の世の中、アンテナを立てれば見ることができる時代に、一戸あたり7万円から8万円も負担してテレビを見なければならぬのはおかしい。市で補助金を出してもらえないか。
  10. テレビだけでなく、FMラジオが聞こえないのも問題。
  11. 炭の家付近にある防災無線が聞こえにくい。設置当初からだが、今朝の地震に関する放送も何を言っているのか分からなかった。放送が途切れてしまっている。
  12. 清水地区の無線も聞こえにくい時がある。緊急の時に聞こえなければ意味がない。戸別受信機も古い機械は使えない。
  13. 市のコミュニティホール内に「きょうの会議」といった当日の案内板のほか、施設内の各部屋の配置を説明する案内板が必要。部屋ごとにも何の部屋なのかを知らせる案内板を設置してほしい。
  14. 水道に関して、6トンのタンクから10軒ほどがホースを引いて利用している。今朝の地震でタンクがずれたせいか、水漏れしているので対応してほしい。
  15. 水道はぜひほしい。生活していくには水が必要で、毎日あやしい水を飲んでいる。健康都市を標榜する本市としては恥ずかしいことで、善処してほしい。

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員会小委員長 松田 信之 様

平成27年6月8日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成27年議会報告会2班

班長 佐竹 強 ㊟